

なごや子ども・子育てわくわくプラン2029
名古屋市子どもに関する総合計画（案）に対する
市民意見の内容及び市の考え方

令和7年3月

名古屋市

目 次

1	なごや子ども・子育てわくわくプラン2029 名古屋市子どもに関する総合計画（案）に対する市民意見の概要	
(1)	意見募集期間	1
(2)	意見提出状況	1
(3)	市民意見の内訳	1
2	なごや子ども・子育てわくわくプラン2029 名古屋市子どもに関する総合計画（案）に対する市民意見の内容及び市の考え方	
(1)	大人の意見の内容及び市の考え方	2
①	計画策定の考え方	2
②	めざす姿	2
③	計画の基本的な視点	3
④	施策・事業	4
⑤	その他	21
(2)	子どもの意見の内容及び市の考え方	22
①	子どもの権利	22
②	健康・いのち	22
③	安全で快適な環境	22
④	居場所と交流・体験	23
⑤	学び（学校生活）	24
⑥	その他	25

1 なごや子ども・子育てわくわくプラン2029 名古屋市子どもに関する総合計画（案）に対する市民意見の概要

「なごや子ども・子育てわくわくプラン2029 名古屋市子どもに関する総合計画」の策定にあたり、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容は、一部要約または分割、類似のご意見をまとめるなどして掲載しましたのでご了承ください。

（１）意見募集期間

令和6年12月18日（水）～令和7年1月17日（金）

（２）意見提出状況

区分		郵 送	ファックス	電子メール	ウェブ	直接持参	合 計
大人	提出者数	2 人	87 人	9 人	27 人	0 人	125 人
	件数	11 件	91 件	10 件	64 件	0 件	176 件
子ども	提出者数	2 人	0 人	0 人	16 人	0 人	18 人
	件数	3 件	0 件	0 件	29 件	0 件	32 件

（３）市民意見の内訳

大 人

項 目	件 数
計画策定の考え方	2 件
めざす姿	2 件
現状と課題	0 件
計画の基本的な視点	4 件
施策・事業	166 件
子ども・子育て支援事業計画	1 件
その他	1 件

子 ども

項 目	件 数
子どもの権利	1 件
健康・いのち	2 件
安全で快適な環境	3 件
居場所と交流・体験	6 件
学び（学校生活）	3 件
その他	17 件

2 なごや子ども・子育てわくわくプラン2029 名古屋市子どもに関する 総合計画（案）に対する市民意見の内容及び市の考え方

（１）大人の意見の内容及び市の考え方

① 計画策定の考え方（２件）

計画の名称について（２件）
【主な意見の例】 ▶ 子ども・若者・子育て家庭に関する施策というのは命、人権に関わるものなので、「わくわくプラン」という名前は変えてほしい。
【市の考え方】 「なごや子ども・子育てわくわくプラン」という愛称は、平成17年に第1期プランを策定する際に、公募により決定したもので、子育てにわくわくする期待感や充実感を持てる人が増えることを願い、子どもと子育て家庭にとって楽しく、わくわくした計画がいっぱい詰まっているというイメージを表しています。 愛称に込められた趣旨を実現できるよう、計画に基づき、子どもに関する施策を総合的に推進してまいります。

② めざす姿（２件）

めざす姿（子ども）について（１件）
【主な意見の例】 ▶ 子どものめざす姿に「他を思いやる心を持ち」とあるが、今必要なのは「自分を大切にできる」ことだと思う。自分を大切にできれば、その後の「自分らしさを表現することができる」ようになるのではないか。
【市の考え方】 他を思いやる心を持つことと同様に、自分を大切にできることも大切なことだと考えています。「めざすまちの姿」にもあるように、自分にも他人にも権利があることを知り互いに尊重できるよう、計画を推進してまいります。

めざす姿（若者、子育て家庭）について（１件）
【主な意見の例】 ▶ めざす姿に「幸せを実感できる若者」「子育てすることに喜びを感じる家庭」とあるが、市民の心のあり方を行政が目標に掲げることに違和感がある。
【市の考え方】 「めざす姿」は本計画がその実現をめざしていく姿として掲げているものですが、計画の推進にあたっては、多様な価値観・考え方を尊重してまいります。

③ 計画の基本的な視点（4件）

「子どもの最善の利益を重視し、権利を保障する視点」及び「当事者参画の視点」について (1件)
【主な意見の例】 ▶ 「子どもの最善の利益を重視し、権利を保障する視点」、「当事者参画の視点」に賛同する。
【市の考え方】 計画の基本的な視点を大切にしながら、子どもに関する施策を総合的に進めてまいります。

「多様な民間主体との協働と相談・支援ネットワークの充実をはかる視点」について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 子ども・若者・子育て家庭を支える事業を充実させることとあわせて、そこで働く人たちも含めた支援の形を整えることが必要。
【市の考え方】 子ども・若者・子育て家庭に対して、安定した支援を継続的に行えるよう、必要な援助により、支援者・団体の育成や支援に取り組んでまいります。

「将来への希望の形成と実現をはかる視点」について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 子育てに経済的負担を感じている子育て家庭が多い中、子育てのポジティブなイメージだけを先行させても、不安がなくなるわけではない。困っている保護者が助けを求めづらくなる恐れがあるのではないかと。
【市の考え方】 計画に基づき、経済的負担の軽減を含む子育て家庭への支援や相談体制を充実させることにより、安心して子育てでき、子育てをすることに喜びを感じられるような社会環境づくりを進めていくとともに、子育てのポジティブなイメージを社会全体で共有してまいりたいと考えております。

④ 施策・事業（166 件）

施策 1 子どもの権利を守り生かすことへの支援（1 件）

なごや子どもの権利条例の推進について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ なごや子どもの権利条例を知らなかったので、もっと周知するといい。
【市の考え方】 パンフレット4種（大人版・くわしい版・ティーン版・かんたん版）や条例マスコットキャラクター「なごっち」グッズを使用した広報・啓発を行っています。 広く市民の方々に認知していただけるよう、より効果的な機会や手法を都度検討しながら継続的な周知に取り組んでまいります。

施策 2 子どもの健康・いのちの支援（7 件）

乳幼児健康診査について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 乳幼児健診のときに、しつけに関することや子どもへの声かけ、働きかけなどを全員に教えてほしい。
【市の考え方】 乳幼児健診では、保健師による問診の際に、育児に関する困りごとがないかをお聞きし、内容に応じて保健師や栄養士等が個々の状況に応じた助言を行っております。また、1 歳 6 か月児健診では、受診者の皆さんに具体的な子どもへの接し方等を紹介するチラシを配布しているところです。引き続き、保護者に寄り添いながら、支援に努めてまいります。

中学生と赤ちゃんのふれあい体験について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 現代の子どもたちは日常的に赤ちゃんや妊婦さんと接する機会がなく、SNS などの情報から結婚や出産、子育てに負のイメージをもちやすいと考える。中学生と赤ちゃんのふれあい体験事業を行ってほしい。
【市の考え方】 保健センターでは、学校と共同して行う思春期セミナーのなかで、赤ちゃん人形を使用した育児体験や、妊婦体験等を実施しております。引き続き、学校と連携しながら、妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発ができるよう、内容や方法を工夫して行なってまいります。

食育の総合的推進について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 食育が何なのかわかりづらい。
【市の考え方】 食育とは、バランスの良い食事や規則正しい食生活、食を通じたコミュニケーションなど食に関する幅広い分野にわたる取り組みです。誰もが健全な食生活に関心を持ち実践していくことができるよう、引き続き食育を推進してまいります。
任意予防接種費用の助成について（2件）
【主な意見の例】 ▶ RSウイルスは乳児の重症化リスクが高いため、妊婦への予防接種によって乳児期の感染を防ぐことが重要だと考えるが、ワクチン費用が高額であるため、費用助成を検討してほしい。 ▶ 新型コロナウイルスワクチンの子どもへの接種費用を助成してほしい。
【市の考え方】 RSウイルス感染症の予防接種については、現在、国の諮問機関である厚生科学審議会において、定期接種化を検討するうえでの科学的知見に関する情報収集を行うとされています。本市としては、こうした動向を踏まえて、必要に応じて検討してまいります。 また、本市においては、任意予防接種に係る公費助成について、国の制度、ワクチンの有効性、費用対効果等を勘案して助成の対象にするか等を決定しております。子どもに対する新型コロナウイルスワクチン接種費用の助成については、国の動向を注視してまいります。
魅力ある学校給食の推進について（1件）
【主な意見の例】 ▶ なごやめしを提供するのはいいが、外国につながる子どもも多いため、海外の料理も提供してほしいし、給食費を無償化してほしい。
【市の考え方】 名古屋市の学校給食では、毎年、新しい献立を開発するとともに、姉妹友好都市・パートナー都市の料理を、学校給食用にアレンジした特別献立を提供しています。通常献立においても、スラッピージョーやガパオライスといった外国の料理をアレンジした献立も多数提供しています。 給食費のあり方につきましては、引き続き検討してまいります。

受動喫煙の防止について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 子どものいる場所での喫煙はやめるべきとの周知徹底と施策・規制が必要である。計画記載や条例制定により、子どもたちの健康を受動喫煙から守ってほしい。
【市の考え方】 本市では、子どもを受動喫煙から守るべく、「名古屋市子どもを受動喫煙から守る条例」を制定しております。本条例に基づき、市民に対して子どもの受動喫煙に関する知識の普及、喫煙者には受動喫煙防止に関する意識の啓発を行ってまいります。

施策3 安全・安心で快適に過ごせる環境づくり（9件）

家庭の防災リーダー育成事業について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 子どもを防災のリーダーとして、危険な場所に駆り出すのではなく、最も守られるべき存在として扱ってほしい。
【市の考え方】 本事業は、子どもを通じて家庭における防災意識の向上をはかるため、日頃から家庭の防災リーダーとして家庭での防災対策を率先して考え、行動することができる子どもたちを育成するものです。事業趣旨を実現できるよう、引き続き実施してまいります。

バリアフリーのまちづくりの推進について（1件）
【主な意見の例】 ▶ バリアフリーの推進はとてもいいと思うので、ぜひ進めてほしい。
【市の考え方】 ご意見ありがとうございます。引き続き、本市の福祉都市環境整備指針に基づき、道路や施設等のバリアフリー化が進むよう努めてまいります。

地域に身近な公園の再生について（3件）
【主な意見の例】 ▶ 子育て世帯の親として公園を利用して、保守・整備が不十分な公園が多いと感じる。限られた予算で公園を最大限活用するため、不要な公園は廃止・集約した上で、質の高い公園の再整備を推進してほしい。 ▶ 公園の使用制限が多い。子どもを思いきり遊ばせられる屋外の場所を作ってほしい。
【市の考え方】 身近な公園が子育てや交流の場として、子どもが元気いっぱい遊び楽しめ、憩いと潤いのある空間となるよう努めてまいります。

地下鉄駅への「子ども・子育てサポートベンチ」の設置について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 子ども・子育てサポートベンチはとてもいいと思う。
【市の考え方】 子ども・子育てサポートベンチについては、設置拡大を検討してまいります。

駐輪場へのベビーカー用スペースの設置について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 保育所への通所手段としてベビーカーを利用しやすくするため、駅周辺の駐輪場にベビーカー用スペースを作って置かせてほしい。
【市の考え方】 名古屋市営の自転車駐車場につきましては、「名古屋市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づいて設置しております。その対象となる車両の区分は自転車対策に関する法律と同様で、道路交通法で規定された自転車と原動機付自転車です。 用地に限られる中で自転車駐車需要に対応するため自転車駐車場を設置しており、駐車対象でないベビーカーを置いていただくことはできません。ご理解賜りますようお願いいたします。

瑞穂公園の整備について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 瑞穂公園はアジア・アジアパラ競技大会の工事のため、入ることができなくなっているが、子どもの遊ぶ権利を奪っているのではないかな。公園の工事の進め方においても、子どもの遊ぶ場所を確保しつつ行うなど、権利の保障に努めてほしい。
【市の考え方】 現在整備を進めている瑞穂公園については、公園全体を区分けし、子どもの遊び場を奪うことがないように、各児童園等を順次改修・整備しており、引き続き、子どもの権利を尊重しながら整備を進めてまいります。

施策 4 多様な居場所と交流・体験の支援（107 件）

児童館での子育て相談について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 子どもが就園、就学して以降も悩みを話したり、情報を得たりできる場があるといいので、児童館に誰もが気軽に相談できる相談員がいるといい。
【市の考え方】 児童館は 18 歳未満の子どもとその保護者等がいつでも気軽に悩み等を相談できるよう対応しております。今後も引き続き適切に取り組んでまいります。

留守家庭児童健全育成事業助成について（102 件）

【主な意見の例】

- ▶ 長期休み等、一日保育を行う際、正規指導員の数に足りずシフトを組むことができない。また、休暇を安心して取ることもできない。十分な指導員を確保できるよう、助成金の基準額を増額してほしい。
- ▶ 配慮を必要とする子どもを受け入れる場合の助成が実態にあわず、不十分である。
- ▶ 準備時間も含めて、人件費を助成してほしい。
- ▶ 助成金の入金時期の見直しや、要件の緩和、申請しやすい仕組みづくりを行ってほしい。
- ▶ プレハブの施設は夏は暑く冬は寒い。静養室や職員室もなく不便である。子どもたちの生活の場として安心して快適に過ごせるよう、施設基準の改善を求める。
- ▶ 庭に屋根等、雨水を防ぐことができるものを設置するなど、天候に左右されずに体を動かして楽しく過ごせるよう環境を整えてほしい。
- ▶ 土地や施設の確保に本当に困っている。名古屋市が公有地を提供、確保することを求める。
- ▶ 土曜日に学校行事などがあり登録児童が学校に行く場合は閉所時間にできるよう見直してほしい。
- ▶ 子ども的人数に対して指導員を減らしたり、閉所も可能にしてほしい。
- ▶ 児童福祉法運営指針に基づいて実施しており、公的な役割を果たしている。制度的にも予算的にも拡充を求める。
- ▶ 運営における保護者負担を軽減し、市の責務として運営に関わってほしい。
- ▶ 保育料を無償化するなど、保護者の費用負担を軽減してほしい。

【市の考え方】

指導員の人材確保については、処遇改善をすすめることが一つの解決策になるものと考えており、本市では国基準の充実にあわせて処遇改善に係る助成を充実することで、育成会の取り組みを支援させていただいております。

配慮を必要とする子どもを受け入れる場合、本市においては国の補助基準どおり、障害児を1人以上受け入れる場合の「障害児受入推進事業」及び障害児を3人以上受け入れる場合の「障害児受入強化推進事業」という2つの補助事業を設けており、育成会における障害児の受入促進を図っているところです。

本市では、児童が学童の利用を開始する時間が14時30分頃であることを踏まえ、長時間開所加算（平日）の起算点を13時としております。

助成金の入金については、速やかな対応に努めてまいります。申請手続きにつきましては、できる限り育成会の皆様に負担のないよう努めておりますが、公金の適正な執行のため必要な最小限度の手続がございますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

専用室の標準仕様については段階的に仕様の改善を実施しておりますが、引き続きご意見などを踏まえ、限られた予算の範囲内で運営場所の改善に努めてまいります。一方で、外構に係る設備については、各育成会でご対応いただくものと考えております。

公有財産につきましては、それぞれが行政上の目的を持っており、育成会の施設確保のた

めに、優先して利用することは困難です。ただし、例外的に使用できる場合があるため、育成会からの問い合わせに応じ、使用の可能性について確認してまいります。

本市では、就労等により昼間家庭に保護者がいない小学校年齢期の子どもの健全育成を図るという趣旨に鑑みて、育成会の開所日を日祝日及び年末年始を除く毎日として定めております。今後につきましては、利用者のニーズや利用の実態等を踏まえ、育成会の効率的な運営の実現に向けて検討してまいります。また、職員の配置基準については、国が定める「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に規定されており、本市において取り扱いを変更することは困難です。

本市では、国の補助制度の充実にあわせて、育成会にかかる助成額を増額しているところですが、育成会への支援を更に強化できるよう、今後とも、国に対して機会をとらえ要望を行ってまいりたいと考えております。

会計・経理事務、労務管理事務等の育成会における周辺業務について、保護者負担軽減のために事務職員を配置または外部委託した場合には、「育成支援体制強化助成」を活用していただくことが可能です。また、令和5年度から令和6年度にかけて留守家庭児童育成会法人運営モデル事業を実施し、本格実施に向けて検討しているところです。

育成会は、利用児童の保護者や地域の方々と組織される運営委員会が運営しており、保育料は各育成会で決定しております。本市では、国の補助制度の充実にあわせて、育成会にかかる助成額を増額しているところですが、「多子世帯減免助成」や「ひとり親家庭減免助成」を市独自に実施しております。

トワイライトルーム、トワイライトスクールについて（2件）

【主な意見の例】

- ▶ トワイライトルームによっては、校庭に一切出られないところもある。事業者によって差が出ないような管理・運営をしてほしい。
- ▶ 制度だけでなく内容の充実もお願いしたい。長時間座って近くを見る活動が多く、身体や視力が心配。

【市の考え方】

運動場や体育館などの学校施設の利用に関しては、各トワイライトスクール等で学校教育活動に支障がない範囲で学校や利用関係者と調整の上、利用しています。今後も学校施設を利用できるよう、学校等と連絡を密にしております。

市ではトワイライトにおける体験活動事例集を作成して、体験活動の活性化を図っております。また、公民連携施策を活用し、民間事業者からアイデアを募り、子どもたちが興味・関心を持って取り組める活動を実施できるよう、体験活動の充実に努めているところです。

子どもの運動・文化活動の振興について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 子どもの運動・文化活動の振興について、インクルーシブな運動、交流が可能になるよう、走らないフットサル「ウォーキングサッカー」を活用するといい。 ▶ 中学校における部活動について、休日の活動制限や終了時間の設定などを検討してほしい。
【市の考え方】 民間事業者に委託して実施している小学校における新たな運動・文化活動については、種目を学校と運営事業者が調整して決定しています。「ウォーキングサッカー」については、運営事業者に情報として提供させていただきます。 土日の中学校部活動については、令和7年10月からの地域移行に向けて地域の多様な団体等に参入意向の調査をしているところです。「ウォーキングサッカー」をはじめとしたインクルーシブな活動を行う団体等にも働きかけを行ってまいります。 部活動の活動日や活動時間については、「名古屋市立学校部活動等活動日・活動時間の基準」を市立学校に通知しています。 休日の中学校部活動については、令和7年10月からの地域移行に向けて環境整備を進めており、部活動の活動日についても段階的に見直しをしているところで、学期中における通常の校内での練習について、土日の活動は行わない、公式戦を除く各種大会及び練習試合への参加は年間10日間を上限とする予定です。

施策5 子ども中心の学びの支援（5件）

少人数教育の推進について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 少人数教育の推進はとてもいいと思う。教員の負担を軽くすることで教育の質を上げてほしい。 ▶ 全学年で少人数教育を推進してほしい。
【市の考え方】 一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を行うための小学校1・2年生における30人学級及び小学校3～6年生・中学校1年生における35人学級という少人数学級の編制を行っています。また、個々の子どもの習熟度や学習においてのつまずきに対応するための少人数指導を実施しています。

ナゴヤ・スクール・イノベーション事業について（1件）
【主な意見の例】 ▶ ナゴヤ・スクール・イノベーション事業において、正しいブレインストーミングのやり方を授業などで浸透させてほしい。
【市の考え方】 ナゴヤ・スクール・イノベーション事業の実践校では、探究学習・協働学習システムを使用し、子どもたちが調べたことや考えたことをまとめたり、共有したりすることで、多様な他者と協働して、よりよい発想や活動を創り上げる学びを進めております。今後も、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に努めてまいります。

教員の配置について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 小中学校全クラスへ副担任を配置してほしい。
【市の考え方】 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律により、教職員の定数は定められておりますが、国の加配措置なども活用しながら、教員を配置したいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。

高校入試制度について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 公立高校入試を改革してほしい。
【市の考え方】 公立高等学校の入学選抜は、生徒にとってその後の進路等を定める重要な機会であり、入学志願者一人ひとりが安心して受検に臨めるよう、公平・公正な実施に取り組んでまいります。

施策6 子ども・若者の未来の応援（2件）

出会いや結婚の希望をかなえる支援について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 出会いの場の提供については、多様な価値観を持つ人に配慮してほしい。
【市の考え方】 結婚・出産は個人の価値観が大きく関わる問題であるため、多様な価値観・考え方を尊重するとの大前提のもと、本市では、結婚を望まれている方の出会いの場の創出を目的とした婚活イベントの開催及び参加者にとって有意義なイベントとなるよう事前オンラインセミナーの実施をしております。

キャリア支援について（1件）
【主な意見の例】 ▶ キャリア教育や小中学生起業家人材育成が、なぜ「子ども・子育てわくわくプラン」なのか、意味がわからない。
【市の考え方】 子どもが多様な選択肢があることを理解した上で、希望を持って自分のライフデザインを描き、自分らしい生き方を実現できるよう、ライフキャリア支援等に取り組み、子どもの現在だけでなく将来も応援してまいります。

施策7 安心して子どもを生み、親として成長することへの支援（8件）

両親学級（パパママ教室）について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 「両親学級」について、両親学級の担い手を助産師などにも委託し、妊婦や家族の多様な形や生活に合わせた内容も取り入れてほしい。
【市の考え方】 両親学級は、現在も、助産師の方に講師を依頼して、開催しております。また、講座の内容は、受講者アンケート等でニーズを確認しながら検討しており、引き続き、改善に努めてまいります。

産後ケア事業について（3 件）
【主な意見の例】 ▶ 産後ケア事業においては、プッシュ型支援と申請の簡略化が重要だと考える。産後の外出が難しい人のために、申請や面談のオンライン化も検討してほしい。 ▶ すべての産婦が必要なときに必要なだけ産後ケアを受けられるようにしてほしい。 ▶ 制度は非常に素晴らしいものなので、より多くの人が利用しやすくなるよう、所得制限による利用料の差を見直してほしい。
【市の考え方】 産後ケアを必要とする全ての方が利用できるようにするため、利用要件の緩和、期間の拡大、料金の見直し、申請方法の改善等を、令和7年度後半に実施できるよう検討をすすめてまいります。
名古屋市妊婦・子育て家庭応援金の支給について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 妊婦・子育て家庭応援金うれしいが、子育てにはお金がかかるので、給付金額を上げてほしい。
【市の考え方】 本市では、妊婦・子育て家庭応援金に加え、子育てに必要な用品などをプレゼントする「わくわくプレゼント事業」を実施しております。これらの子育て支援事業を総合的に実施することで、引き続き、名古屋市で生まれ育つ子どもたちと子育て家庭を応援してまいります。
子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ インフルエンザワクチン接種費用について、12・15・18 歳の子どもへの助成があるが、乳幼児や他学年の子どもにも一部助成を拡大してほしい。
【市の考え方】 本市の子どものインフルエンザ予防接種費用の助成は、進学や就職など、次のステップを迎える節目の時期にある子どもと子育て家庭を応援することを目的としております。助成対象の拡大については、目的等に鑑みつつ、慎重に検討する必要があるものと考えております。

子育て学び支援事業について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 子育て学び支援事業を乳児健診後に継続利用できるようにしてほしい。必要な場合は、地域療育センター等の早期の支援につなげてほしい。
【市の考え方】 子育て学び支援事業は、広く一般の方を対象として、子育てに対する不安感の解消や子育てへの希望につなげるとともに、児童虐待の発生予防のため、子育てを学ぶ機運を醸成し、子育て世代やこれから親になる人を対象とした講座の開催等により、子育てを学ぶ機会を提供するものです。今後も引き続き多様な機会を提供できるよう努めてまいります。

家庭教育支援の推進について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 「家庭教育」とは具体的に何か。「親のあり方」も漠然としている。
【市の考え方】 家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。 本市では、子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうとすることを「親学」として推進しています。

施策8 経済的負担の軽減（1件）

保育所等の利用者負担額の軽減について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 0歳児からの保育料無償化を早く実施してほしい。
【市の考え方】 保育料無償化にあたっては、多額の安定財源の確保を主として、その他待機児童対策等の課題もあります。そうした課題を整理しながら、実施に向けて検討してまいりたいと考えております。

施策 9 地域全体での子育て支援（8 件）

子育て応援拠点事業、地域子育て支援拠点事業（子ども・子育て支援事業計画【11】）について（1 件）

【主な意見の例】

- ▶ 子育て応援拠点のスタッフの育成について、市がしっかりとサポートし、市として子育て家庭を支える仕組みをつくってほしい。
- ▶ 地域子育て支援拠点事業における支援の質の向上、右肩上がりとなっている量の見込みに対する市の取り組みを記載してほしい。

【市の考え方】

本市では、子育て応援拠点・支援拠点のスタッフの育成・ステップアップのための研修を実施するとともに、他拠点のスタッフと好事例の横展開を図るための取り組み等を実施しております。引き続き、子育て応援拠点・支援拠点の質の向上に努めるとともに、子ども・子育て支援事業計画に基づき「確保方策」に掲げる拠点数の確保に努めてまいります。

地域子育て支援拠点事業について（2 件）

【主な意見の例】

- ▶ 各保健センターで実施する乳児検診はアウトリーチの絶好の機会と考えるため、待合室に地域子育て支援拠点等のスタッフが入れるようにしてほしい。

【市の考え方】

一部の区の保健センターでは、現在、子育て支援拠点等と連携し、健診時に遊び場の情報提供等の子育て支援の取り組みを実施していただいております。一方、保健センターの待合スペースの広さ、動線の確保などにより、乳幼児健診時にそのような取り組みが困難な場合もあるため、引き続き、各保健センターの状況等を踏まえつつ、連携の方策等について検討する必要があるものと考えております。

地域子育て支援センターについて（1 件）

【主な意見の例】

- ▶ 保育園に併設する地域子育て支援センターでは、保育士が保育の援助のため、一時的に支援室に不在になったり、事前告知なく休みになったりするところがあると聞く。保育も大切だが、子育て支援も大切なので、役割をきちんと担ってほしい。

【市の考え方】

地域子育て支援センターの運営に関して、各施設から毎月、実施状況の報告をいただいております。子育て支援の充実のため、適切に職員を配置し、事業全体の質の向上に取り組んでまいります。

なごや未来っ子応援制度（ぴよか）について（1件）
【主な意見の例】 ▶ おむつ代やミルク代、食費の負担が大きいため、ぴよかで常に割引を受けられるようにしてほしい。
【市の考え方】 「ぴよか」は、地域全体で子どもと子育て家庭を支える気運の醸成、家族のふれあいの促進を目的とした事業であり、趣旨に賛同いただいた協賛店舗等の皆さまの協力により実施しております。本市では、子育てに必要な用品等をプレゼントする「わくわくプレゼント事業」を実施しており、これらの子育て支援事業を総合的に実施することで、引き続き、名古屋市で生まれ育つ子どもたちと子育て家庭を応援してまいります。
乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 乳児等通園支援事業は、乳児保育の実績のある認可保育所で実施してほしい。子どもの不安を軽減するため、親子通園から始めるようにしてもらいたい。
【市の考え方】 乳児等通園支援事業は、改正児童福祉法の施行に伴い、認可事業となります。事業を実施する際には、設備運営基準への適合状況を確認し、市町村で認可を行います。 また、親子通園について、子どもも親も不安を感じずに通園できることが期待されることから、必要に応じて、取り入れることが可能となる予定です。
子育てグループの広報について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 乳幼児とその保護者が参加できる民間の子育てグループの情報を、子育て支援機関のスタッフに周知するとともに、子育てグループのチラシ等を子育て施設に配架、乳幼児健診時に配布、「名古屋市子育て応援サイト」を周知するなど、子育て中の方にも広報してほしい。
【市の考え方】 子ども・子育て支援センターでは、登録いただいた子育てグループ等のチラシの配架やグループへの活動場所の貸出などの支援を行っています。また、子育て家庭への情報提供として、同センターの運営する「名古屋市子育て応援サイト」では、登録グループの情報を検索・入手できるようにしているところです。

施策 10 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援（1 件）

働きやすい環境整備について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 職場や社会で柔軟な働き方ができる環境の整備を進めてほしい。
【市の考え方】 子育て支援企業などの認定制度を推進し、従業員が家事や育児と両立しやすい柔軟な働き方ができるように取り組む事業者が増えるように取り組んでまいります。

施策 11 質の高い乳幼児期の教育・保育の総合的な提供（7 件）

保育所等待機児童対策の取り組み推進について（2 件）
【主な意見の例】 ▶ 地域によって保育所に入りにくいところがあると聞くので、子育て世帯が増えている地域に保育所を増やしてほしい。 ▶ 少子化が続くと思うため、利用枠の減少を長期的に計画する必要があるのではないか。
【市の考え方】 令和 6 年 4 月 1 日現在で、国の調査要領に基づく保育所等利用待機児童数は 11 年連続 0 人となりましたが、特定の保育所等を希望する等の理由により保育所等を利用できていない方が 1,121 人いることに加え、保育ニーズが増加している地域もあるため、必要な地域を見極めたうえで賃貸物件を活用した民間保育所等を設置するとともに、既存施設の老朽改築等を実施することにより、必要な利用枠の維持・確保に努めてまいります。 また、将来的な保育ニーズの見通しについても把握を行い、その動向を見据えた取り組みについても検討してまいります。

保育案内人の配置について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 保育案内人が幼稚園での預かり保育などの制度を詳しく知らないため、十分な支援が実施できていない。
【市の考え方】 保育案内人の業務内容の一つに、区内の保育所等の保育施設及びその他の保育資源や多様な保育サービスの情報収集がございます。窓口業務に注力するのみではなく、こういった本来の案内人の業務について十分に実施いただけるよう、各区に働きかけてまいりたいと考えております。

幼児教育・保育の質の向上、幼児教育・保育と小学校教育の接続について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 幼児教育・保育と小学校教育の接続、幼児教育・保育の質の向上について、子ども青少年局と教育委員会が連携して施策を推進してほしい。
【市の考え方】 幼児教育・保育と小学校教育の接続及び幼児教育・保育の質の向上については、子ども青少年局及び教育委員会の両局で取り組む必要があると認識しております。今後も連携して推進してまいりたいと考えております。

保育所等へのベビーカー用スペースの設置について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 保育所への通所手段としてベビーカーを利用しやすくするため、保育所にベビーカー置き場を設置してほしい。
【市の考え方】 保育所等へのベビーカー置き場の設置については、保育所等の立地等により状況が異なるため一律で対応を定めることは困難です。 各保育所等に対しては、令和5年度より築10年を経過した施設を対象とする、保育環境の向上等を目的とした補助（保育環境向上等事業）を実施し、施設の状況に応じて必要な整備等に活用していただいているところです。

乳幼児の意見聴取について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 乳幼児の意見を聴くには、大人が応答的な関係性の中で聴き取ることが必要。乳幼児の健やかな発達のため、乳幼児の声を聴き取ることのできる物的、人的環境の改善を重視してほしい。
【市の考え方】 各保育所等に対しては、令和5年度より築10年を経過した施設を対象とする、保育環境の向上等を目的とした補助（保育環境向上等事業）を実施し、施設の状況に応じて必要な整備等に活用していただいているところです。 また、保育所等運営費補給金制度により、国基準に上乗せして職員を加配できるようにしており、保育体制の充実を図っております。

幼稚園における公私間格差について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 幼稚園における公私間格差を是正し、公平な施策を実施してほしい。
【市の考え方】 国・県の状況も踏まえながら、本市としても引き続き、公私間格差の是正に努めてまいります。

施策 13 障害や発達に特性のある子どもとその家庭への支援（7 件）

地域療育センター等の充実について（2 件）
【主な意見の例】 ▶ 地域療育センター等において、エビデンスを踏まえた支援ができる体制を構築してほしい。 ▶ 障害児の早期療育を地域全体で進めるため、地域療育センター、保健センター、病院などが連携して、切れ目なく子どもを見ていけるような仕組みを構築してほしい。
【市の考え方】 地域療育センターを地域における障害児支援の中核的役割に位置づけ、早期子ども発達支援と子ども・子育て支援を一体的に実施するとともに、名古屋市立大学に設置したところの発達診療研究センターと連携し、子どもの発達に知見を持つ医師や医療スタッフの育成・確保をめざすなど、診療体制の充実に取り組んでまいります。
特別支援教育に関する施設整備について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 災害時の対応のための機器も配備してほしい。
【市の考え方】 内閣府のガイドライン等に基づき、指定避難所の良好な避難生活環境の確保に向けて取り組みを進めてまいります。
肢体不自由学校の設置について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 市立の肢体不自由児特別支援学校を設置してほしい。
【市の考え方】 特別支援学校の設置義務のある県に、肢体不自由学校の新設を強く要望してまいります。

特別なサポートが必要な子どもへの指導・支援の充実について（3件）
【主な意見の例】 ▶ 支援対象となる子どもが増加している現状を踏まえ、長期休暇や放課後の生活も見据えて、各区の「障害者自立支援協議会児童部門」へ参加したり、地域療育センターと連携したりするなど、関係機関との連携を進めてほしい。 ▶ 就学期を迎えた幼児のための就学相談と関連し、学校担当者による保育所・幼稚園等への訪問活動を充実させてほしい。 ▶ 障害児等、児童福祉との連携が求められる子どもと家庭の理解のため、継続的な研修を実施してほしい。
【市の考え方】 学校が支援に関する必要な情報の共有を図れるよう、福祉等の関係機関との連携に努めてまいります。 また、小学校へ就学する際には、必要に応じて、園での様子を小学校の教員が参観し、個別の支援が引き継がれるよう努めてまいります。 障害のある子どもの指導・支援や今日的な課題とその対応について学ぶことができるよう、引き続き研修の計画・実施に向けて取り組んでまいります。

施策 14 虐待を受けている子どもなど配慮を必要とする子どもとその家庭への支援
(1件)

地域子育て相談機関について（1件）
【主な意見の例】 ▶ こども家庭センターの設置・運営は記載があるが、地域子育て相談機関については記載がない。地域子育て相談機関の設置についても計画に記載してほしい。
【市の考え方】 利用者支援事業（基本型）を地域子育て相談機関として位置づけることとしており、「VI 子ども・子育て支援事業計画」の「【3-1】利用者支援事業（基本型）」に記載しています。

施策 17 いじめなどの未然防止と早期発見・解決への対応（1件）

不登校児童生徒への対応について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 現在の不登校児童生徒への対応は、学校へ戻ることを前提とされているが、何らかの理由で学校へは通いたくないと考える児童生徒についても不利益が生じないようにしてほしい。
【市の考え方】 本市では、不登校児童生徒が「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することができるよう、誰一人取り残されない学びの保障に向けた支援を行ってまいります。

施策 18 外国につながる子どもとその家庭への支援（2 件）

外国につながる子どもや家庭への支援について（2 件）
【主な意見の例】 ▶ 外国人の子どもたちの支援について、外国人学校に通う家庭への支援も必要ではないか。 ▶ 外国人学校に通う子どもも含め、外国人の子どもが取り残されることなく救われることを期待する。
【市の考え方】 外国人の子どもを含め「国籍や民族などの異なる人々が、互いを認め合い、共にしあわせに生きていくことができる」多文化共生都市の実現ができるよう「多文化共生推進プラン」に則した施策を推進してまいります。 なお、外国人学校に対する就学支援につきましては、国または所轄庁である都道府県において検討されるべきものと考えております。

⑤ その他（1 件）

局間連携について（1 件）
【主な意見の例】 ▶ 子ども青少年局と教育委員会の連携を強化してほしい。
【市の考え方】 名古屋市次世代育成支援対策等推進会議等を通じて、教育委員会に限らず、局横断的に連携をはかりながら、計画を推進してまいりたいと考えております。

(2) 子どもの意見の内容及び市の考え方

① 子どもの権利 (1件)

じんけん 人権について (1件)
おも いけん れい 【主な意見の例】
▶ もっと子どもや大人の人権をみんなにわかってもらえるようにしてほしい。
し かんが かた 【市の考え方】
子どもも大人も、さまざまな人権について知ってもらえるよう、いろいろな場所で学習活動やイベントなどを行ってまいります。

② 健康・いのち (2件)

きゅうしょく 給食について (2件)
おも いけん れい 【主な意見の例】
▶ 給食を無償化してほしい。
▶ 中学校のランチは温かくないし、味付けも栄養バランス優先で、ランチが楽しみでなくなった。
し かんが かた 【市の考え方】
給食費のあり方につきましては、引き続き検討してまいります。
中学校スクールランチのおかずは汁物など温かい状態で提供するものを除き、食中毒防止のため冷ましています。味については定期的に教育委員会の職員が検食し、各社の調理品を集めて比較検討するなど、日々改善に努めています。今回いただいたご意見も踏まえ、今後もスクールランチが美味しく魅力的なものとなるよう努めてまいります。

③ 安全で快適な環境 (3件)

こうえん 公園について (1件)
おも いけん れい 【主な意見の例】
▶ 猛暑が続き、夏は公園で遊べない日があった。公園に日差しを避ける屋根などがほしい。
し かんが かた 【市の考え方】
子どもが元気いっぱい遊び楽しめる公園づくりの参考とさせていただきます。

子どもの安全^{あんぜん}教育^{きょういく}について（1件^{けん}）
【主な意見^{おも いけん れい}の例】 ▶ 子どもの安全^{あんぜん}に関する^{かん}ことを学校^{こうがく}で講話^{こうわ}したり、日々^{ひ ひ}の生活^{せいかつ}で意識^{いしき}することを声^{こえ}かけしてほしい。
【市^しの考^{かんが}え方^{かた}】 それぞれの学校^{こうがく}には、計画^{けいかく}を立てて、「不審^{ふしん}な人^{ひと}に会^あったときにはどうしたらよいか」について、いろいろな場面^{ばめん}で指導^{しどう}していただいています。これからも、子ども自身^{じしん}が自分^{じぶん}でも身^みを守^{まも}ることができるように、指導^{しどう}をするよう伝^{つた}えていきたいと思^{おも}います。

子どもが過^すぎす環^{かん}境^{きょう}について（1件^{けん}）
【主な意見^{おも いけん れい}の例】 ▶ 国立^{こくりつ}小学校^{たいいくかん}の体育館^{せつち}にも早くエアコンを設置^{せつち}してほしい。
【市^しの考^{かんが}え方^{かた}】 子どもの健^{すこ}やかな成^{せい}長^{ちやう}のために、安全^{あんぜん}で快^{かい}適^{てき}な環^{かん}境^{きょう}づくりは重^{じゅう}要^{よう}だと思^{かんが}えておりま す。この計画^{けいかく}では、子どもが過^すぎすさまじまな場所^{ばしよ}での安全^{あんぜん}対^{たい}策^{さく}を進^{すす}めていきたいと思^{かんが}えて います。

④居場所^{いばしよ}と交^{こう}流^{りゅう}・体^{たい}験^{けん}（6件^{けん}）

居場所^{いばしよ}について（3件^{けん}）
【主な意見^{おも いけん れい}の例】 ▶ ここにいていいよ、という子ども^{いばしよ}の居場所^{いばしよ}をどこか1つでもいいので作^{つく}ってほしい。 ▶ 子どもだけの時間^{じかん}を作^{つく}らないといけない。 ▶ 児童館^{じどうかん}や学童^{がくどう}保^ほ育^{いく}、相^{そう}談^{だん}機^き関^{かん}などを合^が体^{たい}さ^させ^せた施^し設^{せつ}を作^{つく}り、無^む料^{りょう}ワ^わー^くク^しョ^うッ^ぷや子^こども 食^{しょく}堂^{どう}も開^{かい}催^{さい}してほしい。
【市^しの考^{かんが}え方^{かた}】 すべての子どもや若^{わか}者^{もの}がそれぞれの状^{じょう}況^{きやう}に^{おう}応^{おう}じた居場所^{いばしよ}を持^もてるよう、居場所^{いばしよ}づくりを 進^{すす}めていきます。

交流や体験について（3件） 【主な意見の例】 ▶ 交流や体験の機会が物作りだったら楽しいと思う。 ▶ 名古屋の伝統や戦争のことなど、高齢者から若い世代に伝える場を作してほしい。 ▶ 家庭の都合などで参加できない子が減るし、クラス内で共有することができるから、自主的に参加するイベントの形よりも、学校への出前授業を増やすといいと思う。 【市の考え方】 いろいろな形で、さまざまな交流や体験の機会の提供に努めていきます。
--

⑤ 学び（学校生活）（3件）

子ども中心の学びについて（1件） 【主な意見の例】 ▶ 自分らしく学べることはすごく大切なこと。子どもは、まわりと比べて自分を責め続けてしまふ。親でも先生でも地域の人でも誰でもいいので、ゆっくりでいいよ。自分のペースでね。と声をかけるだけでも変わってくと思う。 【市の考え方】 子どもたちが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものとして「ナゴヤ学びのコンパス」を令和5年度に策定しました。 「子ども中心の学び」の実現に向けて、大人が「子ども一人一人の思いや願いを尊重する」、「子どもと対話する」、「子どもの自分なりのチャレンジを大事にする」ことを大切に、子どもの学びに伴走していく取り組みを推進してまいります。

キャリア教育について（1件） 【主な意見の例】 ▶ 生徒が作成したドリームマップを廊下に掲示することに違和感がある。人に見られるため、ドリームマップに自由に書くことをためらい、せっかくの機会が無駄になってしまうのではないかな。 【市の考え方】 ドリームマップの取り扱いについては、子どもの実態を踏まえて、よりよい活用のあり方について各学校で検討し、慎重に対応していくよう努めてまいります。
--

学校の施設について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 人数に対して学校校舎が狭いため、外部の方などの話を聞くとともに画面越しになってしまい、実のある体験になりにくい。
【市の考え方】 外部講師による学習機会は、貴重な体験ですので、講師の方の理解が得られれば、学年を分けて対面で実施したり、教室で講師と対面できる時間を設けたりするなど、取り組みの工夫によって、児童生徒により有意義な学習活動となるよう努めてまいります。

⑥ その他（17件）

計画全体について（12件）
【主な意見の例】 ▶ いいと思う。 ▶ 計画の内容はどれも大事なので、すべてが当たり前になるまで取り組みを続けてほしい。 ▶ これからも発展し続け、素敵な名古屋市になるように楽しみにしている。
【市の考え方】 計画に基づき、子どもに関する施策を総合的に進めていきます。

不安のない生活について（2件）
【主な意見の例】 ▶ 安心して生活ができるようにしたい。 ▶ お金の心配がないようにしてほしい。
【市の考え方】 計画に基づき、子どもに関する施策を総合的に進めることで、子どもが安心して生活できるようにしていきたいと考えています。

いじめへの対応について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 周りには相談できる先生などは少なく、いじめた相手を叱るだけでは解決に向かわないと思うので、いじめの発見は難しく、迅速な対応はできないのではないかと。
【市の考え方】 発生したいじめについては、先生が一人で抱え込むことなく、大人たちが協力して対応します。いじめについて先生に相談しにくい場合は、スクールカウンセラーに相談することもできます。また、タブレットからSNSでの相談も受け付けています。

相談場所について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 初対面であっても、気軽に誰でも、些細なことでも相談できるような場所にしてほしい。
【市の考え方】 子ども・若者総合相談センターでは「もいもい」という居場所事業を行っており、交流支援員が常駐し気軽に話すことができます。今後も子ども・若者にとって気軽に相談しやすい場となるよう努めてまいります。

中学生の交通費について（1件）
【主な意見の例】 ▶ 中学生になって電車やバス料金が大人料金になり高くなった。中学生まで子ども料金にしてほしい。
【市の考え方】 市バス・地下鉄では通学者を持つ家庭を対象とした生活支援として、通勤定期より割安な学生定期券を設けています。また、学生定期券の用途を「通学（自宅と学校の最寄り駅・停を結ぶ最短経路）」に限らず、「学生」であれば習い事や塾・予備校、アルバイトなど、どのような用途でも、お得な経路を選択して購入できる制度としています。

なごや子ども・子育てわくわくプラン2029
名古屋市子どもに関する総合計画（案）に対する
市民意見の内容及び市の考え方

編集・発行 名古屋市子ども青少年局企画経理課
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電 話：052-972-3081
ファックス：052-972-4437

発行年月 令和7年3月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。